

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準	
完了	目的を達成し、取り組みを完了したものの、課題やニーズが無くなったもの
継続	取り組みを実施できており（一部実施を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中	取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの
未着手	着手できていないもの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号 (全体)	まち協 下	まち協	取組 番号 (まち協 ごと)	具体的な取り組み													令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄					
				基本目標	内容			種別		スケジュール（西暦）					役割分担 (協働の領域)				備考	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）
										第6次総合計画（前期）					① 市民	② 主に市民	③ 市民と行政	④ 主に行政							
					大	中	小	継続	新規	20 20 年度	20 21 年度	20 22 年度	20 23 年度	20 24 年度											
471	8	宝塚第 一	1	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.1 武庫川右岸の まちづくりの検討	1 「宝塚南口、武庫川右岸 のにぎわい」を考える場づく り（今後の取り組みの検討） （1.5.1に再掲）		○	○	○					○		継続		宝塚温泉まつり、Uganまつり、生の石 橋など市民主体で実行委員会を立ち上げ、宝塚温泉まつり POCAをしながら毎年、規模拡大し内 容を進化させながら、継続中。（すべて 市制70周年官民協働事業）	継続		昨年度を上回る規模で地元自治会や商店を巻き こみ、実行委員会を立ち上げ、宝塚温泉まつり （4/29）1500名・武庫川Uganまつり （10/21）1100人参加。 宝塚ホテル跡再開発、マンション自治会設立に 向けての協議を行う			
472	8	宝塚第 一	2	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.1 武庫川右岸の まちづくりの検討	2 宝塚南口駅周辺の賑わい づくり（「生」のプロジェクト、 てんてん宝塚現代美術など）		○		○	○	○	○	○		○		継続		・ランランバス委員会を地域で応援一温 泉まつり、Uganまつり宣伝ブース展開 ・宝塚アートプロジェクトが「宝塚現代 美術 てんてん 2023」開催。 ・夏と冬の生の石橋継続。 ・宝塚まち遊び委員会は『旧山田家住 宅』一般公開を継続 ・宝塚温泉まつり25団体100人の実行 委員、地元自治会とお節興でハレード ・宝塚市都市計画課が中心活性化WSを2 年継続し、市民参加促進へ	継続		宝塚温泉まつり 4/29 来場者約1500名（宝塚市きずな推進事業行政 連携3年目） Uganまつり 10/21 来場者約1100名 30ブース展開		
473	8	宝塚第 一	3	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.1 武庫川右岸の まちづくりの検討	3 サンピオラまつりなど		○		○	○	○	○	○	○			継続		・まちづくり推進委員会で宝塚南口駅 前渋滞問題解消、「歩車分離式信号機」 を導入可決して、県・市へ政策提言。 ・サンピオラまつり復活へ（5/31）。	継続		今年度は開催なし		
474	8	宝塚第 一	4	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環 境形成	1 河川環境の整備		○		○	○	○	○	○	○		○		継続		・河川敷芝生化で緑の保全 ・市制70周年Uganまつりで兵庫県河川 課と共に「宝塚大橋の震災対策工事後」 を祝う。県民局が工事進捗をブースで 展示。 ・右岸河川敷に転落防止柵延長申入れ ・右岸と左岸をつなぐ会が旧迎宝橋に代 わる仕掛けで「復活」などを申し入れ	継続		環境部会 地域支援の形式で、近隣自治会と調整の上での 協働作業とする 地域交流部会 兵庫県と宝塚市に武庫川の橋の整備を要望す る。河川広場の祭りに県と市がブースを出すま で官民連携が進む 宝塚大橋完成を70周年で祝う	
475	8	宝塚第 一	5	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環 境形成	2 街並み緑化活動の支援 （「地域花壇の管理支援」 「小中学校の緑の管理」等）		○		○	○	○	○	○	○		○		継続		・校区内12の花壇グループを支援 ・校区内公園の調査実施	継続		・校区内12の花壇グループに協礼金提供 ・校区内公園の調査実施	
476	8	宝塚第 一	6	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環 境形成	3 まち美化一斉清掃		○		○	○	○	○	○	○		○		継続		自治会主体で年2回実施	継続		環境部会 自治会主体で年2回実施 地域交流部会 自治会で実施	
477	8	宝塚第 一	7	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環 境形成	4 ベットの飼い方マナーの 向上		○		○	○	○	○	○	○		○		継続		・自治会および住民有志主体で野良猫の 捕獲・TNR活動。随時	継続		自治会および住民有志主体で野良猫の捕獲・ TNR活動。随時	
478	8	宝塚第 一	8	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環 境形成	5 害鳥・害獣対策		○		○	○	○	○	○	○		○		継続		まちづくり推進委員会で害獣対策を審議	継続		自治会主体でアライグマ等の捕獲。随時	
479	8	宝塚第 一	9	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環 境形成	6 里山の保全		○		○	○	○	○	○	○		○		継続		・環境部会は他団体との協力にて、武庫 山の森の協働作業。随時 ・温泉まつりでは、樺守の会が里山を保 全するブース体験を出店	継続		環境部会 他団体との協力にて、武庫山の森の共同作業。 随時 樺守の会より講師派遣。里山保全の勉強会実施 （3/10）	
480	8	宝塚第 一	10	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環 境形成	7 桜並木など街路樹の維 持・管理		○		○	○	○	○	○	○		○		継続		自治会主体で、桜の老木の伐採。随時	継続		環境部会 自治会主体で、桜の老木の伐採。随時 地域交流部会 自治会で実施	
481	8	宝塚第 一	11	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環 境形成	8 ゴミ削減に向けての資源 ゴミ回収・啓発活動の実施		○		○	○	○	○	○	○		○		継続		・自治会主体で、定期的にアルミ缶・古 紙回収。	継続		・自治会主体で、定期的にアルミ缶・古紙回 収。	

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準	
完了	目的を達成し、取り組みを完了したもの、課題やニーズが無くなったもの
継続	取り組みを実施できており（一部実施を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中	取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの
未着手	着手できていないもの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号 (全体)	宝塚市 下	まち協	取組 番号 (まち協 ごと)	具体的な取組み														令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄				
				基本目標	内容			種別		スケジュール（西暦）					役割分担 (協働の領域)				備考	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）
										第6次総合計画（前期）	20 20 年度	20 21 年度	20 22 年度	20 23 年度	20 24 年度	20 25 年度	① 市民	② 主に 市民							
					大	中	小	継続	新規																
482	8	宝塚第 一	12	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環 境形成	9 不用品交換会などリユ ースの促進	○		○	○	○	○	○	○			○		継続		・一小宝梅ハウスにてフードドライブ実 施	継続		・一小宝梅ハウスにてフードドライブ実施	
483	8	宝塚第 一	13	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環 境形成	10 環境に配慮したイベ ント運営、参加者・理 解者の拡大の工夫	○		○	○	○	○	○	○			○		継続		・グリーンアドバイザーを講師に迎え、 寄植え講習会を実施。11/16Uganまつ りで実施（参加者50名）	継続		・グリーンアドバイザーを講師に迎え、寄植え 講習会を実施。11/14実施（参加者24名）	
484	8	宝塚第 一	14	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.3 公園・集会所 の整備	1 空き家、マンション集 会所等の地域資源調査、活用の 検討		○	○	○							○		未着手		・重点プロジェクトAで、アピア、サン ビオラ内の空きスペースの利活用しよ うとリサーチ中	継続		・公共の施設がない一小校区、自治会館もない 地域で、少しでも活用できる場所がないか検討 (防災・福祉など多面的に)	
485	8	宝塚第 一	15	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.3 公園・集会所 の整備	2 校区の公園の役割見直し (過去に実施した公園調査の 成果の再整理、追加)	○		○	○	○								継続		・重点プロジェクトDと連携 ・公園マップを作成中	継続		・重点プロジェクトDと連携	
486	8	宝塚第 一	16	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.3 公園・集会所 の整備	3 公共空間の有効活用に向 けた市・開発者との調整（集 会所、公園の集約化など）		○	○	○	○	○	○	○			○		継続		・宝塚ホテル跡地の公開空地の利用につ いて管理組合のHIT TOWAさんと宝塚 市とで公開空地の活用、コミュニ ティデザインを協議中	継続		環境部会 ・宝塚ホテル跡地の公開空地の利用につ いて協議中 重点PJ次世代支援D MAPづくりのため公園の実態調	
487	8	宝塚第 一	17	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.4 地域への愛着 と誇りの醸成	1 地域の魅力再発見（住 民が地元のよさを再認識するま ち歩きなどを実施する） (1.6.1に再掲)	○		○	○	○	○	○	○	○				継続		・宝塚第一小学校の児童と旧温泉街を歩 く授業として「トレジャーハンター」を 地域、学校、育友会で共催（6/6） ・地域交流部会ではまち歩き事業を継続 ・宝塚温泉まつり実行委員会は、宝塚市 観光振興局観光課と連携し、旧温泉街 を再現するマップなど作成し配布。 ・まつり開催以外で「ナノの湯のまち宝 塚」を広めたり、大阪の緑化プロジェ クトへ協賛し「宝塚に温泉あり」を大阪 市内の住民にアピール。花のみちフラッ クへ温泉まつり温泉君が採用。 ・宝塚都市計画課が武庫川河川敷での市 民WSで住民が地元の良さを再認識する WSを開催し、ハンパ祭りや河川敷での テント宿泊など様々な事業が生まれた。	継続		地域交流部会 (1) 6/4「旧跡の小浜町のまちあるき」 参 加26名 (2) 9/2「商店街を盛り上げる学生と交流 (池田市)」 参加10名 (3) 9/17「波豆川親子カヌー体験」(見守 り) 体験参加80名 (4) 11/18「妙見山ケーブルとリフト体験」 参加5名	
488	8	宝塚第 一	18	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.5 地域密着型の 事業を展開	1 「宝塚南口、武庫川右岸 のにぎわい」を考える場づく り（1.1.1に掲載）		○	○	○							○		継続		宝塚温泉まつり、Uganまつり、生の石 橋など市民主体で実行委員会を立ち上げ PTCAを回しながら毎年、規模拡大し内 容を進化させながら、すべて市制70周年 官民協働事業として展開しています	継続		重点プロジェクト担当Aの地域交流部会が中心に 「地域交流ネットワーク会議」を開催。住民同 士で課題を洗い出し必要に応じて要望書作成し 官民協働のまちづくりを進めている	
489	8	宝塚第 一	19	1. 継承と発展 (歴史・文化・環 境・にぎわい)	1.6 地域のお店や 事業者を利用	1 地域の魅力再発見（1.4.1 に掲載）	○		○	○	○	○	○	○	○				継続		・温泉まつり、Uganまつりでは、プ ース出店として地元のお店（zukekura、 淡路島バーガー、味蔵等）が出店、地域 のお店や事業者と連携 ・温泉まつりは地元企業や関係者やお店 とコラボし出店協賛金を供出できるまで 集客が安定。相互利益の協力関係に 育ち、補助金を申請しない自走型に成長	継続		宝塚温泉まつり 4/29 来場者約1500名（宝塚市きずな推進事業行政 連携3年目） 旧温泉街号員展示、宝塚音頭体験など Uganまつり 10/21 来場者約1100名 30ブース展開 近隣店舗や団体からブース出店	
490	8	宝塚第 一	20	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.0 情報の収集・ 共有・発信	1 地域情報の把握・共有	○		○	○	○	○	○	○	○				継続		今年度も引き続き積極的に活動の様子を 一小まち協ブログにて発信を行った。ま ちづくり推進委員会等、地域自治会 のからの情報収集を行なった。	継続		一小まち協ブログで地域情報を発信 自治会等地域の情報収集に取り組み、広報紙に も取り上げた	

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準	
完了	目的を達成し、取り組みを完了したもの、課題やニーズが無くなったもの
継続	取り組みを実施できており（一部実施を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中	取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの
未着手	着手できていないもの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号 (全体)	まち協 コード	宝塚第 一	取組 番号 (まち協 コード)	具体的な取り組み													令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄				
				基本目標	内容			種別		スケジュール（西暦）					役割分担 (協働の領域)			備考	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）
										20 20 年度	20 21 年度	20 22 年度	20 23 年度	20 24 年度	20 25 年度	① 市民	② 主に市民							
					継続	新規																		
491	8	宝塚第 一	21	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.0 情報の収集・ 共有・発信	2 広報紙発行・全戸配布体 制の強化	○		○	○	○	○	○	○	○		継続		今年度より年2回発行（7月・3月）と する。	継続		まち協広報誌を年3回発行 No.5 1(7/1) No. 5 2(11/15) No.5 3(3/31) まち協広報紙は自治会や管理組合等の協力を得 て配布。 配布協力員が広報紙持ち込み時に配布の協力ハ の呼びかけを積極的に行った 自治会の活動など地域の活動も紙面に反映する とともに、読み手に書きやすい紙面づくりを工 夫した。 公民館やサンビオラなどに広報紙を置いても らった。		
492	8	宝塚第 一	22	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.0 情報の収集・ 共有・発信	3 ブログ発信・体制・ルー ルの検討	○		○	○	○	○	○	○	○		継続		会長が自ら積極的に活動の様子を一小 まち協ブログにて発信を行った。年間14 1の発信を行い、閲覧者のアップにつな がっている。	継続		ブログによる情報発信（まち協の活動、自治会 はじめ地域の活動）を徹底行った（各部会・本 部）会長が積極的にUP閲覧者の増加につなぐ た。		
493	8	宝塚第 一	23	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.0 情報の収集・ 共有・発信	4 広報板の充実と活用	○		○	○	○	○	○	○	○	○	継続		市の広報板だけでなく、自治会や個人が 設置している広報板などを利用してチ ラシ等の掲示を行った。 店などでのチラシの張り出し、設置の協 力も得た。	継続		市の広報板だけでなく、自治会や個人が設置 している広報板などを利用してチ ラシ等の掲示を行った。 店などでのチラシの張り出し、設置の協力も得 た。		
494	8	宝塚第 一	24	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.1 多世代が交流 する場づくり	1 みんないっしょ夏まつり などの実施（4.4.2に再掲）	○		○	○	○	○	○	○	○	○	継続		校庭が工事などで使用不可のため ・ Uganまつり（11/16）約1500人参加 ・ 温泉まつり（4/28） 約2000人参加 地域の賑わいとして定着	継続		環境部会 ・ 夏まつり：校舎耐震工事のため中止 ・ UGANまつり（10/21）共催 ・ 温泉まつり（4/29）協力 地域交流部会 小学校耐震工事のため校庭使用できず。		
495	8	宝塚第 一	25	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.1 多世代が交流 する場づくり	2 宝梅ハウスでの地域住民 の交流の場づくり（「宝梅ハ ウスまつり」等）	○		○	○	○	○	○	○	○	○	継続		宝梅ハウス ・ 宝梅ハウス祭り 内容の充実（バージョンアップ） 助成金活用 参加者の増大等 ・ 宝梅ハウスの内、外の広報版を活用 して地域情報、まち協イベント等のポ スターを掲示している ・ くろぎカフェ毎週水曜日午後開催 ツカボ移動カフェ第4水曜日開催	継続		宝梅ハウス ・ 宝梅ハウス祭り 内容の充実（バージョンアップ） 助成金活用 参加者の増大等 ・ 宝梅ハウスの内、外の広報版を活用 して地域情報、まち協イベント等のポ スターを掲示している ・ くろぎカフェ毎週水曜日午後開催 ツカボ移動カフェ第4水曜日開催		
496	8	宝塚第 一	26	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.1 多世代が交流 する場づくり	3 宝梅ハウスを地域情報な ど情報発信の場とする	○		○	○	○	○	○	○	○	○	継続		宝梅ハウス ・ 宝梅ハウス祭り 内容の充実（バージョンアップ） 助成金活用 参加者の増大等 ・ 宝梅ハウスの内、外の広報版を活用 して地域情報、まち協イベント等のポ スターを掲示している ・ くろぎカフェ毎週水曜日午後開催 ツカボ移動カフェ第4水曜日開催	継続		広報委員会 ・ ハウス内に広報紙などを張り出し、まち協活 動紹介、地域活動を紹介 ・ 広報紙にチラシ等を張り出し 宝梅ハウス ・ 宝梅ハウス祭り 内容の充実（バージョンアップ） 助成金活用 参加者の増大等 ・ 宝梅ハウスの内、外の広報版を活用 して地域情報、まち協イベント等のポ スターを掲示している ・ くろぎカフェ毎週水曜日午後開催 ツカボ移動カフェ第4水曜日開催		
497	8	宝塚第 一	27	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.1 多世代が交流 する場づくり	4 宝梅ハウスの認知度を上 げる（評議委員会等PR、自治 会見学会の実施等）		○	○	○						○	継続		宝梅ハウス ・ くろぎカフェやシニアの趣味の教室 を活用して作品作りをしている。	継続		宝梅ハウス ・ くろぎカフェやシニアの趣味の教室を活用 して作品作りをしている。		

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】

①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準	
完了	目的を達成し、取り組みを完了したもの、課題やニーズが無くなったもの
継続	取り組みを実施できている（一部実施を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中	取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの
未着手	着手できていないもの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号 (主体)	7-11 地区別	まち協	取組 番号 (まち協 ごと)	具体的な取り組み													令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄				
				基本目標	内容			種別		スケジュール（西暦）					役割分担 (協働の領域)			備考	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）
										第6次総合計画 (前期)	20 21 年度	20 22 年度	20 23 年度	20 24 年度	20 25 年度	① 市民	② 主に市民							
					大	中	小	継続	新規															
498	8	宝塚第 一	28	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.2 生きがいを もって地域で活躍 するづくり	1 シニアの生きがい、活躍 の場づくりの検討（世代の枠 を超えて集まる機会、場づく りを促進する。個々の持つ能 力を発揮する場を創る。ひい ては地域の防災力を高める。 ）			○	○	○	○	○	○		○			継続		・多世代交流事業夏休み工作教室での地 域先生としての参画	継続		地域交流部会 ・7/16 地域ネットワーク会議開催 「市民として行動する次世代メンバーシップの 構築～中高生の活躍の場をどう創造するか～」 講師：川中大輔氏 参加 20名
499	8	宝塚第 一	29	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.2 生きがいを もって地域で活躍 するづくり	2 地域で活躍する人材の発 掘・確保（サロン運営スタッ フの発掘が急務）			○	○	○	○	○	○		○			継続		・Ugan祭りにて、アンケートを行い、 まち協活動に興味があるかを聞いた。7 0%以上の方が興味を持っていることが わかった。	継続		校区15のサロンと社協など参加する「福祉地 域ネットワーク会議」で交流と立案
500	8	宝塚第 一	30	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.3 地域での見守 り、支えあいの充実	1 ふれあいサロンの活用、 支援（身近な居場所として、 健康増進、いきがいがつくり、 情報発信の貴重な場）		○		○	○	○	○	○					継続		・福祉研修バスツアー 淡路方面（10/ 15） 校区12サロンより50名参加 ・ふれあいサロン交流会の開催（3/1 4） 校区10サロンより25名参加	継続		一小宝梅ハウス くつろぎカフェの開催（毎週水曜日） サロン交流会の開催 3/19 宝塚公会堂
501	8	宝塚第 一	31	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.3 地域での見守 り、支えあいの充実	2 健康づくり活動の推進 (いきいき百歳体操、ラジオ 体操等)		○		○	○	○	○	○		○			継続		・春休み・夏休みラジオ体操の開催（校 区12箇所）連べ3000名参加 ・100歳体操実施	継続		いきいき百歳体操 の開催 校区自治会、サロ ン等 夏休みラジオ体操の開催（一小チームラジ 体と共催）7/23～8/28 校区12箇所 春休みラジオ体操の開催（一小チームラジ 体と共催）3/26～4/6 宝塚南口河川敷
502	8	宝塚第 一	32	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.3 地域での見守 り、支えあいの充実	3 障がいや認知症、 LGBT、外国籍など多様な暮 らし、文化を学ぶ機会づくり (3.3.2に再掲)				○	○	○	○	○	○	○			継続		・Uganまつりのテーマは命と共生。地 元で暮らす、障がい者や高齢者がゆっ くり交流する居場所を目的としています。 手話サークルから手話歌のイベント、発 達障害者の施設から大喜利企画、手をつ なぐ育成会などから物販など舞台やブ ースで表現・交流する時間としてつなが りを作っています。	継続		地域交流部会 ・10/21 Uganまつりのテーマは「共生」。 障がい者団体がブース出店 福祉部会 ・福祉勉強会 「障がい当事者の生活を理解 する」 講師：特定非営利活動法人とことこ あい えるせんたー職員
503	8	宝塚第 一	33	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.4 生活支援サー ビスの充実	1 医療や介護の専門家との 連携		○		○	○	○	○	○	○		○		継続		宝梅ハウス くつろぎカフェ開催日に合わせて野菜、 果物、お菓子等の販売をすることでカ フェにいられている方々の買い物負担 の軽減になり事務所への就労支援にも 繋がる取り組み。（この事業所移動販売）	継続		福祉部会 この事業所移動販売 毎週水曜 宝梅ハウス 宝梅ハウス くつろぎカフェ開催日に合わせて野菜、果 物、お菓子等の販売をすることでカフェ にいられている方々の買い物負担の軽減 になり事務所への就労支援にも繋がる取 組み。（この事業所移動販売）
504	8	宝塚第 一	34	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.4 生活支援サー ビスの充実	2 買い物代行、支援などの 生活支援の充実			○	○	○	○	○	○	○		○		継続		コープ買い物行こカーの啓発	未着手		
505	8	宝塚第 一	35	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.5 マンション居 住者等とのコミュニ ケーションの場づく り	1 マンション・コミュニ ティ実行委員会立ち上げ		○		○	○	○	○	○			○		継続		・まちづくり推進委員会などで、マン ションにお住まいの方との話しをする機 会を持ちました。 ・社協さんとマンション支援のNPOで勉 強会を継続	調整中		まだまだ難しい状況だが、プロジェクトA・Cと 連携して進める方向性を出した。
506	8	宝塚第 一	36	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.5 マンション居 住者等とのコミュニ ケーションの場づく り	2 地域のPRツールづくり			○	○	○	○	○	○			○		継続		・現在のUgan祭りなどの地域イベン ト、まちづくり推進委員会、広報誌を活 用してマンションにお住まいの方へのPR を行いました。	調整中		PRツールづくりは未着手だが、まずまち協を 知ってもらうために ・広報誌の配布を通じてのつながりづくり。 （配布担当者が管理組合に声掛け） ・イベントのチラシ配布
507	8	宝塚第 一	37	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.5 マンション居 住者等とのコミュニ ケーションの場づく り	3 モデルマンションとの話 し合い		○	○	○	○	○	○	○			○		継続		・旧宝塚ホテル跡地のマンションコミュニ ティを担うHITOTOWAさんと知り合う 機会を得ました。今後の交流を通して地 域行事への参加やコミュニティづくりの 手法を学ぶ機会を作っていきます。	継続		・旧宝塚ホテル跡地タワーマンション開発にか かる話し合いを継続。管理組合が立ち上がりた ら、協議できる場を作る方向で調整中。 ・プロジェクトCの防災会や訓練等の参加者や、 まちづくり推進委員会でマンション住民の声を 聞いた。

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準	
完了	目的を達成し、取り組みを完了したもの、課題やニーズが無くなったもの
継続	取り組みを実施できており（一部実施を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中	取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの
未着手	着手できていないもの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号 (全体)	まち協 コード	取組番 (まち協コード)	具体的な取り組み														令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄			
			基本目標	内容			種別		スケジュール（西暦）					役割分担 (協働の領域)			備考	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）
									20 21 年度	20 22 年度	20 23 年度	20 24 年度	20 25 年度	① 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に行政							
				大	中	小	継続	新規															
508	8	宝塚第一	38	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.5 マンション居 住者等とのコミュニ ケーションの場づく り	4 マンション防災・福祉検 討プログラムづくり		○		○	○				○		継続		・Ugan祭りで行アンケートを行い、防災 について不安をお持ちの方が多数いらっ しゃるというご意見を頂きました。	調整中		プロジェクトA・Cと連携して進める方向性を出 した。	
509	8	宝塚第一	39	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.5 マンション居 住者等とのコミュニ ケーションの場づく り	5 マンション防災・福祉検 討プログラム実施		○				○	○	○		○	継続		・防災委員会の防災訓練や福祉ネット ワーク会議等への参加を呼びかけた。 ・プロジェクトA・Cと連携して進める 方向性を出した。	調整中		・防災委員会の防災訓練や福祉ネットワー ク会議等への参加を呼びかけた。 ・プロジェクトA・Cと連携して進める方向性 を出した。	
510	8	宝塚第一	40	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.5 マンション居 住者等とのコミュニ ケーションの場づく り	6 マンション居住者の見守 り体制づくり(マンション内 での孤立を防ぎ、近隣の住民 との支えあいを図る)		○		○	○	○		○			調整中		・孤立を防ぐ体制作りはできてない	調整中		プロジェクトB 地域交流部会・福祉部会や他のプロジェクトと 一緒に取り組む方向性を出した。	
511	8	宝塚第一	41	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.6 地域の課題解 決に向けた話し合い の場づくり	1 地域福祉ネットワー ク会議の開催(地域の福祉課題 解決のための交流)		○		○	○	○	○	○		○	継続		・地域福祉ネットワーク会議開催年2回 「子どもたちを取りまく現状を考える」 (9/21)参加者50名「地域の子ど もたちとつながりませんか?」(2/1)参 加者45名	継続		地域福祉ネットワーク会議の開催 ・7/8「磨がい当事者の声を聞いてみなあ 〜い」参加者30名 講師：特定非営利活動法人とことこ あい えるせんたー職員 ・2/3「子どもたちを取りまく現状を考 える」参加者45名 講師：一般社団法人楽笑 代表理事 石井 克馬氏	
512	8	宝塚第一	42	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.6 地域の課題解 決に向けた話し合い の場づくり	2 福祉ブロックの整備(住 民の意見を反映した、日常及 び非常時に支えあうブロック 割の整備)		○		○	○	○	○	○		○	調整中				未着手		
513	8	宝塚第一	43	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.6 地域の課題解 決に向けた話し合い の場づくり	3 ブロックごとの拠点確 保(日常の居場所であり、災害 時の一時避難の場、情報発信 の場となる)		○		○	○	○	○	○		○	調整中				継続		各地区で拠点となりうる場所を選定し一小校 区防災デジタルマップに反映するため、行政と 用語やマークなど統一するための調整中
514	8	宝塚第一	44	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.6 地域の課題解 決に向けた話し合い の場づくり	4 校区内地域ごとの情報整 理・共有(GIS(地理情報シ ステム)を活用して、情報の分析 を促進する)		○		○	○	○	○	○		○	継続		一小校区防災デジタルマップの作成	継続		一小校区防災デジタルマップの作成	
515	8	宝塚第一	45	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.6 地域の課題解 決に向けた話し合い の場づくり	5 地域交流ネットワー ク会議の開催(地域の課題解決 のための団体の知恵の交流)		○		○	○	○	○	○		○	継続		阪神淡路大震災30周年記念行事として 「あの日を語ろう」と題して、当時の映 像を使って、当時の宝塚市長、元教員、 などが経験を語り合い、若き世代も参加 し継承へ動き出す。	継続		地域交流部会 ・7/16 地域ネットワーク会議開催 「市民として行動する次世代メンバ ーシップの構築～中高生の活躍の場を どう創造するか～」講師：川中大輔氏 参加 20名	
516	8	宝塚第一	46	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.6 地域の課題解 決に向けた話し合い の場づくり	6 西谷地区をはじめとし る他地区との交流事業(課題を 解決するために連携する)		○		○	○	○	○	○		○	継続		地域交流部会 ・9/17 宝塚市北部西谷地区波豆川 でカヌー体験 参加80名	継続			
517	8	宝塚第一	47	3. 思いをひろげ る(安全・安心)	3.1 災害時への対 応、防災計画づくり	1 防災教育事業の推進(「児 童防災訓練」等)		○		○	○	○	○	○		○	継続		1月24日 第一小学校4年生対象に児童 防災を実施	継続		1月25日 第一小学校4年生対象に児童 防災を実施	
518	8	宝塚第一	48	3. 思いをひろげ る(安全・安心)	3.1 災害時への対 応、防災計画づくり	2 防災訓練の実施		○		○	○	○	○	○		○	継続			継続		地区防災委員会 2024/1/20『LINEを使った安否確認と 避難所開設訓練』実施	
519	8	宝塚第一	49	3. 思いをひろげ る(安全・安心)	3.1 災害時への対 応、防災計画づくり	3 避難所開設訓練の実施		○		○	○	○	○	○		○	継続			継続		2024/1/20『LINEを使った安否確認 と避難所開設訓練』実施 防災備品の確認と段ボールベッド組 み立てなど	
520	8	宝塚第一	50	3. 思いをひろげ る(安全・安心)	3.1 災害時への対 応、防災計画づくり	4 防災設備(倉庫、無線、 情報伝達手段など)の充実と 整備		○		○	○	○	○	○		○	継続			継続		避難所開設訓練で備蓄品の確認 圧倒的に備蓄品が少ないため、今後必 要な物数量を検討していく 情報共有システム「一小校区防災デ ジタルマップ」作成	
521	8	宝塚第一	51	3. 思いをひろげ る(安全・安心)	3.1 災害時への対 応、防災計画づくり	5 自主防災会ごとの防災方 針の作成		○		○	○					○	調整中			継続		各自自治会、自主防災会が取り組む 課題を出し合い、解決にむけて進捗 確認をした	

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準	
完了	目的を達成し、取り組みを完了したもの、課題やニーズが無くなったもの
継続	取り組みを実施できており（一部実施を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中	取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの
未着手	着手できていないもの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号 (全体)	下り山地区のまち 協同会	取組 番号 (まち 協同会)	具体的な取り組み															令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄					
			基本目標	内容			種別	スケジュール（西暦）					役割分担 (協働の領域)				備考	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）			
								20 20 年度	20 21 年度	20 22 年度	20 23 年度	20 24 年度	20 25 年度	①市民	②主に 市民	③市民 と行政								④主に 行政		
				大	中	小																			継続	新規
522	8	宝塚第一	52	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.1 災害時への対応、 防災計画づくり	6 ブロックごとの地区防災 計画の作成		○		○	○				○			未着手			継続		地区防災委員会で各ブロックの課題を提示し、 課題解決に向けて取り組む		
523	8	宝塚第一	53	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.1 災害時への対応、 防災計画づくり	7 ブロック単位防災訓練、 避難訓練の実施		○			○	○	○	○		○		未着手			継続		1月20日の防災訓練でLINEチャットボットを 活用し、各ブロックから周辺の状況を報告しな がら避難経路を辿って小学校に避難する訓練実 施		
524	8	宝塚第一	54	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.1 災害時への対応、 防災計画づくり	8 防災のリーダー育成		○	○	○						○		継続		地区防災委員会を通じて防災について取り組 むなかで、防災士、防災リーダーの資格を取 得する人が増えつつある	継続		地区防災委員会を通じて防災について取り組 むなかで、防災士、防災リーダーの資格を取 得する人が増えつつある		
525	8	宝塚第一	55	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.2 一時避難所の 設定	1 宝梅ハウスの避難所とし ての利用の検討（改修も含め て）		○	○	○							○		調整中		ハウスを情報拠点として活用できない か、今後市と協議する。	継続		届出避難所を一旦解消し、今後宝梅ハウスを防 災の情報拠点として整備していく	
526	8	宝塚第一	56	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.2 一時避難所の 設定	2 小学校への避難困難地区 での一時避難所の検討・設置		○		○	○	○	○	○			○		継続			未着手		校区の特性として一時避難所にできるような施 設が無い 基本的に在宅避難を進める環境整備が必要	
527	8	宝塚第一	57	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.3 災害時要援 護者の把握と日常的に 顔の見える関係づく り	1 災害時要援護者支援体制 の充実		○		○	○	○	○	○				継続			未着手		今年度、地区防災委員会に民生児童委員にも参 画してもらっているが、要援護者支援体制につ いては未着手		
528	8	宝塚第一	58	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.3 災害時要援 護者の把握と日常的に 顔の見える関係づく り	2 障がいや認知症、 LGBT、外国籍など多様な善 らし、文化を学ぶ機会づくり (2.3.3に掲載)			○	○	○	○	○	○			○		継続		・福祉勉強会（6/25） ～オルタナ ティブ教育とは？ 留学生との意見交換 会	継続		10/21 Uganまつりのテーマは「共生」で、 障がい者団体がブースを展開。	
529	8	宝塚第一	59	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.4 交通インフラ の充実	1 校区住民の移動手段の確 保を考える（広い校区と坂道 などの課題も、移動手段があ れば、拠点の位置の問題も緩和 される）		○		○	○	○	○	○				○		継続		・ランランバス運営委員の努力でローカ ル定期バスは定着し、バスの乗車率が アップし、小型から中型バスへ ・温泉まつり、Uganまつりでランラン バス運営委員がブースを出し、存在意識 を住民で相互理解。地域で応援する気運 が広がる。	調整中		ランランバス委員会で協議
530	8	宝塚第一	60	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.4 交通インフラ の充実	2 渋滞緩和		○		○	○	○	○	○				○		継続		・まちづくり推進委員会が宝塚南口駅前 渋滞問題解消へ、「歩車分離式信号機」 を導入可決して、県、市へ政策提言	調整中		宝塚ホテル跡地連絡会で開発業者と交渉
531	8	宝塚第一	61	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.4 交通インフラ の充実	3 道路の安全性の向上（ス ピード抑制、道路幅・改善 等）		○		○	○	○	○	○				○		継続		・まちづくり推進委員会が宝塚南口駅前 「歩車分離式信号機」を導入可決、歩行 者の道路安全向上を県、市へ政策提言	継続		安全部会が設置した古い電柱電交換を進める
532	8	宝塚第一	62	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.5 危険箇所の改 善・バリアフリー化	1 通学路の見守り		○		○	○	○	○	○				○		継続		・コミュニティスクール、まちづくり推 進委員会など地域の会議で通学路の見守 りボランティアの募集を話し合う	継続		育友会愛護部と話し合いをし、広報紙に見守り ボランティア募集の記事掲載。まちづくり推進 委員会で提案
533	8	宝塚第一	63	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.5 危険箇所の改 善・バリアフリー化	2 交通安全の啓発（交通安 全教室の実施等）		○		○	○	○	○	○				○		継続		・コブクロ宝塚店より『横断中』の 旗を50本を提供。育友会愛護部へ届ける	継続		今年度は第一小学校での自転車教室開催でき ず。
534	8	宝塚第一	64	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.5 危険箇所の改 善・バリアフリー化	3 校区内の安全対策（危険 箇所の見守り、改善等）		○		○	○	○	○	○				○		継続			継続		電柱帯の整備 まちづくり推進委員会などを通して要望の把握
535	8	宝塚第一	65	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.5 危険箇所の改 善・バリアフリー化	4 校区内危険の改善（年に1 回、行政側と進捗を協議確 認）		○		○	○	○	○	○				○		継続		・宝塚警察、宝塚市、兵庫県などと通学 路の安全向上へ道路整備を現地調査して 改善を話し合う	継続		9/15 小学校安全対策委員会より、県や市など と合同で通学路安全点検実施
536	8	宝塚第一	66	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.6 防犯対策の充 実	1 防犯活動の啓発		○		○	○	○	○	○				○		継続			継続		自治会で実施
537	8	宝塚第一	67	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.6 防犯対策の充 実	2 アトム110番など地域で の見守り		○		○	○	○	○	○				○		継続			継続		自治会で実施
538	8	宝塚第一	68	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.6 防犯対策の充 実	3 防犯カメラの設置		○		○	○	○	○	○				○		継続		武庫山の森の焚火事業で、対策として防 犯カメラ設置提案など、まちづくり推進 委員会で審議された	継続		自治会で実施
539	8	宝塚第一	69	3. 思いをひろげる (安全・安心)		3.6 防犯対策の充 実	4 街路灯の増設		○		○	○	○	○	○				○		継続		自治会で実施	継続		自治会で実施

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】
①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●」印を入力（記載）してください。
③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準	
完了	目的を達成し、取り組みを完了したものの、課題やニーズが無くなったもの
継続	取り組みを実施できており（一部実施を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中	取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの
未着手	着手できていないもの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号 (全体)	取組 地区 (まち協)	取組 地区 (まち協)	取組 地区 (まち協)	具体的な取り組み															令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄		
				基本目標	内容			種別	20 20 年度	スケジュール（西暦）				役割分担 (協働の領域)				備考	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考（進捗確認）
										第6次総合計画（前期）	20 21 年度	20 22 年度	20 23 年度	20 24 年度	20 25 年度	① 市民	② 主に 市民							
					継続	新規																		
540	8	宝塚第 一	70	3. 思いをひろげ る(安全・安心)		3.6 防犯対策の充 実	5 門灯の点灯	○		○	○	○	○	○			○		継続		自治会で実施	継続		自治会で実施
541	8	宝塚第 一	71	3. 思いをひろげ る(安全・安心)		3.6 防犯対策の充 実	6 消費者教育の実施(特殊 詐欺被害防止啓発、等)	○		○	○	○	○	○			○		継続		自治会で実施(LINEを使い情報共有)	継続		自治会にて実施
542	8	宝塚第 一	72	4. 次世代をはぐ くむ(将来・未来 の担い手を育成)		4.1 子どもたちの あそびの場づくり	1 一こっ子遊ぼう会への支 援(新しい担い手づくり)	○		○	○	○	○	○			○		継続		放課後の学校開放は月2回開催。2024 年度は20回実施。児童参加者約4000 人、保護者見守り参加約160人。事業継 続には事務局体制や新しい担い手が必 要。	継続		2023年度 遊ぼう会 9月まで耐震工事のため 開催中止 開成回数 6回 児童の延べ参加数 779名 お手伝いの保護者延べ人数 47名
543	8	宝塚第 一	73	4. 次世代をはぐ くむ(将来・未来 の担い手を育成)		4.1 子どもたちの あそびの場づくり	2 子どもの習い事に部屋を 貸し出す(世代間交流につな げる)	○		○	○	○	○	○			○		継続		地域の教室に部屋の貸し出しを継続して いる。成果発表の場として宝梅ハウスま つりて作品展示や発表の場を設けた。	継続		地域の教室に部屋の貸し出しを継続している 成果発表の場として宝梅ハウスまつりの中で作 品の展示や発表の場を設けた
544	8	宝塚第 一	74	4. 次世代をはぐ くむ(将来・未来 の担い手を育成)		4.2 中・高校生向 けの空間づくり	1 自習室として地域の拠点 の開放を検討		○	○							○		継続		プロジェクトDとして宝梅ハウス 年間9日開放、のべ200名が使用	継続		宝梅ハウス ・宝梅中学校の定期考査前の土日に 10時～16時まで宝梅ハウスを開放して学習 の場として学生に利用してもらう。
545	8	宝塚第 一	75	4. 次世代をはぐ くむ(将来・未来 の担い手を育成)		4.2 中・高校生向 けの空間づくり	2 音楽や運動などができる 場の確保		○	○	○	○	○	○			○		調整中		クラブの地域移行を来年へ控えて、関係 団体の連携が急がれる	調整中		プロジェクトDで調整中
546	8	宝塚第 一	76	4. 次世代をはぐ くむ(将来・未来 の担い手を育成)		4.3 中・高校生が 地域で活躍する場づ くり	1 防災行事・まつり等地域 活動への参加、実行委員会へ の参加推進	○		○	○	○	○	○			○		継続		・温泉まつりでは未就学児童や小学生が お御興を担ぎ、Uganまつりでは地域の 中高生が司会進行するなど表現活躍の場 を構築	継続		プロジェクトD これまでも夏休み工作教室などに参加する機会 はあったが、企画段階からより積極的に参加で きえるような場を検討していく
547	8	宝塚第 一	77	4. 次世代をはぐ くむ(将来・未来 の担い手を育成)		4.4 世代間交流の 推進	1 世代間交流事業の推進 (「工作教室」等)	○		○	○	○	○	○			○		継続		・夏休み世代間交流事業～夏休み工作教 室の開催(7/23)参加者150名	継続		福祉部会・子育て部会合同開催 世代間交流広場(工作教室) 7/25 国庫・文化センター 160名参加
548	8	宝塚第 一	78	4. 次世代をはぐ くむ(将来・未来 の担い手を育成)		4.4 世代間交流の 推進	2 みんないっしょ夏まつり などの実施(2.1.1に再掲)	○		○	○	○	○	○			○		継続		・夏まつりに代わり世代間交流を目的に 命、共生、食をテーマのUganまつりを 継続中。 ・工事のため夏まつり校庭使用不可	継続		今年度も夏まつり中止 これに代わる世代間交流の場として Uganまつりなどを実施
549	8	宝塚第 一	79	4. 次世代をはぐ くむ(将来・未来 の担い手を育成)		4.5 子育て世代の 場づくり	1 子育て世代の交流の場づ くり(ふれあいサロン等開 催)	○		○	○	○	○	○			○		継続		・子育てふれあいサロンの開催毎月第2 金曜開催。11回で延べ300名参加	継続		毎月、第2金曜日を原則に福祉部会と子育て部会 合同で「子育てふれあいサロン」を宝梅ハウス で開催。未就園児とその保護者の交流の場と なっている
550	8	宝塚第 一	80	4. 次世代をはぐ くむ(将来・未来 の担い手を育成)		4.5 子育て世代の 場づくり	2 子育てグループへの支援 (子育てサークルの広報等)	○		○	○	○	○	○			○		継続		・一こっ子遊ぼう会への支援。 月2回学校の放課後開放へ見守り支援	継続		こもたのカーニバル 福祉部会と子育て部会合同で参加協力
551	8	宝塚第 一	81	4. 次世代をはぐ くむ(将来・未来 の担い手を育成)		4.6 コミュニティ スクール(学校、保 護者、地域で子育て、 地域育て、学校 育て)	1 「一こ」の教育現場の課 題」の検討	○		○	○	○	○	○			○		継続		・学校環境適正化委員会、コミュニティ スクール、まちづくり推進委員会など地 域の会議で「大規模校の弊害」など教育 環境の課題を話し合う	継続		コミュニティ・スクールは3回開催(5/17) (12/15)(2/15)重点目標、地域との 連携、学校の現状、学校運営、学校評価など多 岐にわたる意見交換をした。
552	8	宝塚第 一	82	4. 次世代をはぐ くむ(将来・未来 の担い手を育成)		4.6 コミュニティ スクール(学校、保 護者、地域で子育て、 地域育て、学校 育て)	2 青少年関係団体の連携強 化	○		○	○	○	○	○			○		継続		・育友会でトップが不正やババハラなど で「組織力/バンス不全」に陥り、団体 間の連携ができなくなる。まち協など地 域側が学校に警告文を出し、これを契機 に育友会は保護者で内部改革を達成し機 能を取り戻す。団体間の連携の前に民主 主義的自治回復を地域がサポートでき た。青少年団体間の連携が進み、次世代 担い手が育成された。	継続		育友会、遊ぼう会との連携はあるも、スポーツ 21:学校応援団、寺子屋、青少年育成市民会議、 青少年歩道委員会などとの連携を深めることが課 題。